

PET-CT 検査をご依頼くださる先生へのご案内

独立行政法人国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 中央放射線センター

腫瘍マーカー高値、悪性腫瘍検索目的による検査

自由診療、検診目的の検査は行いませんので、ご了承下さい。

【検査ができる核種について】

^{18}F -FDGのみです。一日3回に分けて製薬会社から検査薬(^{18}F -FDG)が配送されます。当日の緊急検査には対応できません。

PET-CT 検査の有用性をご承知のことと存じますが、保険適用の制限や、検査前の処置、注意点など、分かりにくかったり、忘れたりしがちなことも多くあります。つきましては、以下にポイントを記しますので、ご確認の上ご依頼いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

【検査対象患者について】

- ① PET-CT を受ける患者は原則 ADL が自立している患者(介助を必要としない患者)とさせていただきます。
- ② 次の方は、検査対象外とさせていただきます。
 - ・車椅子護送やストレッチャー担送が必要な患者。
 - ・認知機能低下があり介護が必要な患者。
 - ・おむつ交換・トイレの介助等が必要な患者。
 - ・疼痛コントロール不良や不穏等により検査中の静止(20分)が保てない患者。
 - ・待機室での安静(患者のみで1時間)ができない患者。
 - ・挿管中や全身状態が不安定で急変のリスクがある患者。
 - ・妊娠中あるいは妊娠の可能性のある患者。
 - ・小児患者(18歳未満)。
 - ・バリウムを使用後1週間以内の患者。
 - ・当院以外でペースメーカーの埋め込みを行った患者。

※ 分かりにくい場合は、当院アイソトープ検査室へお問い合わせ下さい。

1. 保険適用に関する注意

現時点(平成28年4月)では、以下の要件を満たす場合に、保険適用となります。よくご確認の上、お申し込み下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

同一月内にガリウムシンチグラフィが行われている場合は、保険適用とはなりませんので、ご注意ください。

悪性腫瘍の疑い病名は保険適用外となります。ただし、病理検査で確定していなくても他の検査で臨床上悪性腫瘍と確定できる場合(99.9%悪性腫瘍である)は保険適用となります。

悪性腫瘍 (早期胃癌を除き、 悪性リンパ腫を含む)	他の検査、画像診断により病期診断、転移、再発の診断が確定できない患者
※てんかん	難治性部分てんかんで外科切除が必要とされる患者
※虚血性心疾患	虚血性心疾患による心不全患者における心筋組織のバイアビリティ診断(他の検査で判定のつかない場合に限る)又は心サルコイドーシスにおける炎症部位の診断が必要とされる患者

※の疾患(てんかん・虚血性心疾患・心サルコイドーシス)におきましては、当院では検査を行いません。

2. 確認事項、患者さんに説明していただきたい点

検査の概要、確認事項等は患者さん向けの「PET-CT 検査をお受けになる患者さんへ」にも記載しています。

【PET-CT 検査予約申込書記載のお願い】

- ① PET-CT 検査予約申込書にはできるだけ詳細な傷病名、症状経過、検査結果、治療経過などの記載をお願いします。また、糖尿病に関する情報は特に重要であり空腹時血糖値のご記入と現在使用中の糖尿病薬についての情報をお知らせ下さい。検査の計画上で、身長・体重の情報が必要ですので必ず記載下さい。
- ② 画像診断結果、病理検査結果、腫瘍マーカーの情報についても施行年月日と結果をお知らせ下さい。また、検査当日は必ず貴院で施行された CT/MRI 等の参考画像を患者様に持参して頂くようお願いします。
- ③ 報告書は1週間以内にお手元にお届けできるようにいたします。結果が早急に必要な場合は、その旨お知らせ下さい。電話・FAX でご連絡差し上げます。

【説明項目】

- ① 予約日時に忘れずに来院すること、もし都合が悪くなって来院できなくなった際はすぐに病院に連絡すること、もし連絡なしに来院されなかった場合には無駄になったお薬の費用をご負担いただく場合があることをご説明下さい。
- ② PET-CT 検査の内容についてのご説明
18F-FDG というブドウ糖代謝の指標となる放射性医薬品を注射し、体内の放射能の分布を PET-CT 装置で画像化します。ブドウ糖代謝の盛んな腫瘍や炎症の病巣の診断ができます。**(全ての腫瘍が診断できる検査ではありません。)**18F は半減期 110 分と短く、被曝は微量で放射性障害の心配はほとんどありません。FDG 自体も、副作用は全くない安全な医薬品であることを、ご説明下さい。
- ③ 検査前の注意事項についてのご説明

- ・ブドウ糖の代謝状態を正しく診断するため、**検査前 5 時間以上の絶食**が必要です。
- ・ジュースなど砂糖の入った飲み物や菓子などを飲食しないで下さい。砂糖の入っていない水やお茶は自由に飲んで下さい。
- ・排尿促進のため、検査時に**飲用水 500ml を飲んでいただきます。**(検査室にてミネラルウォーターをお渡しいたします。)
- ・前日、当日の運動は筋肉にブドウ糖が集積するため、控えて下さい。
- ・点滴をしている方は、ブドウ糖の入っていない生理食塩水などに切り替えて下さい。
- ・当日は、**糖尿病のお薬は服用できません。**ただし、糖尿病以外のお薬は服用なさってかまいません。

④ 検査当日の流れは、以下の通りです。

- 検査予約 10 分前には来院。受付後、アイソトープ検査受付へ。
- 検査前に、問診等を行います。
- (FDG)を静脈注射します。
- 体内の薬剤が撮影に適した状態になるまでに約 1 時間、待機室で安静にします。(安静時間中の食事や、運動や読書、音楽などの鑑賞は不可。)
- 薬剤は尿に排泄されるため、トイレで排尿した後に撮影します。きれいな画像を撮影するため、注射後に水を飲んでいただき、頻繁にトイレに行ってもらい膀胱の集積を低くします。
- 撮影時間は約 20 分です。(時間をおいて再度写真を撮ることもあります。)
- 撮影終了後は画像確認、外部への被曝を低減するために待機室で約 50 分過ぎて検査終了になります。

- ⑤ 料金(検査の総額で約9万円、保険適用2~3割で3万円前後)についてもご説明下さい。
- ⑥ 予約時間より遅れて来院された場合、絶食を忘れた場合、血糖コントロールが不良で検査時の血糖値が高すぎる場合、検査中止となることがあります。
- ⑦ 交通事情による薬剤輸送障害などによる検査時間の遅れや、延期、中止もあり得ます。
- ⑧ 他の方の無用な被曝防止のため、当日は外来の診察や、他の検査は控えて下さい。
- ⑨ 検査後もごく微量の放射線がでていきますから、注射から 6 時間程度は放射線感受性の高い胎児や乳幼児との接触は念のためにご遠慮下さい。また、授乳中の場合は検査当日の授乳はお控え下さい。検査の翌日は普段どおりでもさしつかえありません。

【確認・留意事項】

- ① 糖尿病で空腹時血糖値が 200mg/dl 以上の場合、検査できません。その場合、検査時に 200mg/dl 以下になるように、管理をお願いします。ただし、検査前のインスリン使用は避けて下さい。
- ② 糖尿病の方は、血糖値の安定性などの観点から午前中早めの時間帯での予約としています。当日は起床時より絶食とし、血糖降下剤やインスリンの使用は中止して下さい。インスリンの中止が困難な方や血糖値が不安定な方は、前もって内分泌・糖尿病科医師に御相

談下さい

- ③ 患者さんの同意を得た上で、同意書の署名をいただいで下さい。
- ④ 「問診表 同意書」は予約時にすべて記入していただき、地域連携室まで FAX にて送付してください。

3. 検査のお申し込み方法

CT、MRIと同様、所定の予約申し込み書にて予約をお取り下さい。

- ① 予約の変更、キャンセルがありましたら、速やかにご連絡下さい。
- ② 当院では薬剤の院内製造は行なっていないため、至急の検査には対応できません。
- ③ 必ずしもご希望の日時に検査できるとは限りません。その際はなにとぞご了承下さい。

今後、保険適用の変更、診療報酬の改定、予約など、上記の内容が異なってくることもあります。他、もし何か疑問な点がございましたら、下記連絡先までお問い合わせ下さい。

独立行政法人国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター

検査内容に関すること …… 中央放射線センター・アイソトープ室

TEL 0823-22-3111(代表) 内線(2505)

検査予約に関すること …… 地域医療連携室

TEL 0823-22-3816

FAX 0823-32-3070